Horizontal vs. Vertical Plane

水平面 と 垂直面（横の平面と縦の平面）

**【資料１】**

Plane　次元　（辞書より）

＜補正項＞2010年11月17日（水）タテ社会と縦の関係

アドラー心理学の「縦の関係／横の関係」は、リディア・ジッヒャー Lydia Sicher が言い始めたのだが、彼女の論文の中では「縦の平面 vertical plane」と「横の平面 horizontal plane」だ。ルネ・ダッシュマン Rene Dushman がそれを参照しつつ「縦の関係 veritical relationship」と「横の関係 horizontal relationship」という用語を使った。さらに、ジヴィット・アブラムソン Zivit Abramson は「縦の構え vertical attitude」と「横の構え horizontal attitude」という言葉を使っている。（201011/17）

＜補正項＞2017年02月11日（土）翻訳が終わったら凧揚げをする

「横の関係」という日本でよく使われる言い方ではなくて、「横の平面」と書いたのは、この概念を言いはじめたリディア・ジッヒャーは horizontal plane / vertical plane と書いていたからだ。それを日本語にするときに私が「横の関係／縦の関係」と訳した。（中略）これはアドラー自身ではなくて、ジッヒャー女史の提唱だ。文献を示すなら、Davidson, A. K. ed.: "The Collected Works of Lydia Sicher: An Adlerian Perspective" だ。（中略）アドラーと岸見氏の間には（私を含めて）多くの先輩たちがいるんですよ。（2017/02/11）

**【資料２】**

Ought to の方が客観的な法律規則に基づいていることが多く、shouldは話し手の主観的判断に基づいている場合が多い、そのためought toの方がやや強意的である、ただし単に道徳的義務に言及するもので、must　やhave to より意味が弱い。（旺文社：新英和中辞典）

**【資料３】**

＜補正項＞2016年02月15日（月）治そうとしない

《縦の関係 vertical relationship》、正確に言うと《縦の平面 vertical plane》、というのは誤解されている単語だが、リディア・ジッヒャーという人が提唱した考え方で、《競合的関係 competitive relationship》のことをいう。その反対語は《横の関係 horizontal relationship》、正確に言うと《横の平面 horizontal plane》で、《協力的関係 co-operative relationship》のことをいう。（2016/02/15）

＜補正項＞2008年04月24日（木）言葉の意味（２）

《縦の関係》というのは、この用語を提唱したリディア・ジッヒャーによれば、「どちらが上かを争う関係」のことであって、このような覇権争いがなくて「どちらかが上でどちらかが下」ということに双方が合意しておれば《縦の関係》ではない。この場合「上」とか「下」とかいうのは役割上の区別、たとえば「教える側」と「学ぶ側」というようなことであって、価値の上下ではない。つまり、治療者（あるいは教師や親）の方が身分が高くて、クライエント（あるいは生徒や子ども）の方が身分が低いと言っているわけではない。だから、上下関係があっても《平等》gleichwertig（文字通りに訳すと「等しい価値」）なのだ。

　もっとも、役割上の上下関係に双方が合意していても、それですなわち《横の関係》だというわけではないかもしれない。《横の関係》というのは、ジッヒャーによれば、「両者が課題の解決のために協力する関係」のことだから、協力しておれば上下関係があっても《横の関係》だし、協力していなければ上下関係がなくても《横の関係》ではない。《縦の関係》でなければすなわち《横の関係》だというわけでもない。普通の二項対立用語とは、この点ですこし違っている。（2008/04/24）

**【資料４】**

＊partial goal ｐ106 211118横山さんの資料より

A partial goal is a stepping-stone on the way to fulfillment of the concretized goal and is in the awareness of the individual. For example, if persons wish to be physicians, then they must take and pass science courses, go to medical school and so forth. Partial goals are dynamic in that they represent specific milestones to be achieved and can be seen as the beginning of the next milestone. Partial goals are aspects of the concretized, personal goal and, as such, are consistent with the overall goal.

部分的目標

部分的目標とは具体化された目標の達成に向かう道のりにおける飛び石であり、個人の意識の中にある。例えば、もしある人が医者になりたいなら、科学のコースをとって合格しなければならないし、医学校に行かなければならない、などである。部分的目標は、到達すべき具体的な一里塚を表し、次の一里塚への始まりと見なされうるという点で、ダイナミックなものである。部分的目標は、具体化された個人的目標の側面であり、従って、全般的な目標と一貫性がある。

【メモ】

＊on the useful side of life　と　on the useless side of life

「人生の有益な側面」と二項対立の日本語訳は？

【資料５】

＜Jaishaのブログ＞2019.02.08「縦の関係」「横の関係」「ななめの関係」

　アドラーによれば、およそすべての優劣は「縦関係」という迷信にもとづいて作られるものであって、けっして現実に存在する優劣ではない。人間と人間の関係は、どんな場合でも「縦関係」あるいは「横関係」として記載できて、どちらをとっても妥当なのだ。ただ現場の人間関係だの個人の生きる価値だのに絞って考えるならば、「縦関係」は問題を巻き起こし、「横関係」は問題なしに協力ができる。

　「縦関係」だの「横関係」だのの話をしていると、「ななめの関係」というものを持ちだす人たちがいる。その人たちが作ったテキストには、実際に「ななめの関係」が記載されており、それについてのワークショップもするみたいだ。しかし、「縦関係」と「横関係」以外に「ななめの関係」というものを立ててしまうと、アドラー心理学の論理そのものが使えなくなる。「いまわれわれはモメているのは『縦関係』だからだ。『縦関係』は競合的な間違った論理で組み立てられている。『縦関係』を作りだす論理から抜け出して、協力的な論理で問題を考えなおし、『横関係』を築く方法を考えよう」と、当事者の両方が気がつかないと、対人関係の問題は解決しない。アドラー心理学を学ぶ初心者は、どうしてもこの障害を越えなければならない。親（あるいは教師）がこの障害を越えていないかぎり、どんなにたくさん勉強しても、アドラー心理学の人間関係は体験できない。